







新年にあたり

県民へのメッセージ

千葉県知事 友納武人

「きびしい年だが着実にあゆみだ」

春を告げる福寿草が咲いて、新しい年がやってきました。昭和四十年の千葉県は、この福寿草のようにきびしい環境の中で生きていかねばならぬ年だと感じます。二年目を迎えた開放経済体制、そして金融の引締めと、高度経済成長によるひずみ、といった風は容赦なく千葉県にも吹いてくるでしょう。

これに対処するには、目標を失わず、大地に足を付けて、一歩一歩前進すべきだと私は思います。このきびしい年を乗り越え、さらに躍進した千葉県とするために、私は向こう五年間の県政のスケジュールをたてました。この計画は、私たちの生活の基礎である県民所得を高め、これを最大の目標としています。いま、国民全体の所得を一〇〇としますと千葉県の所得は八十七で、国の水準にまだ達していません。そこで、この五年間に全国平均を上回る一〇七まで上げて、四十六都道府県の中で一等県というか代表的な富裕な県にしようとするのです。これは夢物語ではありません。二億六千万円の働きによって、県税収入も百億円を突破、全国でもこれまでに例のないほどの躍進を示したのですから。

しかし、ここで足がかりを許せないのです。地域と地域との間や農林漁業と他産業との間には、こうした成長期にありがちないろいろなひずみや社会のゆがみがみられます。個人生活と社会生活との不調和がみられます。こういった問題を、ひとつづつ解決してこそ、次の大きな飛躍がとまれるのです。

「調和のとれた発展を」 今日千葉県の躍進の一つに京葉臨海工業地帯の造成があげられますが、この開発は、今後できるだけ民間の力を活用して進めたいと考えています。それには、従来からある農業を振興して所得格差を是正し、社会のゆがみをなおすことと、個人生活と社会生活とのバランスをはかることです。それには、従来からある農業を振興して所得格差を是正し、社会のゆがみをなおすことと、個人生活と社会生活とのバランスをはかることです。

また、この新春には、県、市町村、それに農業者の三者による農業開発公社を設立して、不足がちな農業の資本を充実して、もうかる農業への手助けをします。次に、漁業の整備を積極的に進め、沿岸漁業の構造改善と流通部門の強化に全力を尽くします。

中小企業、これも集団化、共同化が進んでいくと思います。私は、振興基金という特別の枠をもうけましたが、これは市町村自身が、「中小企業の振興対策は自分の仕事である」という自覚をもっていただくようお願いする考えです。県としても、昨年地域開発の拠点として、県庁の分庁を

たが、成田付近の利根川の二つの橋も、それは着工も、もう一つも近く仕事を始めます。こうして、四十五年までに県内の主要道路の大半を舗装し、曲った道はまっすぐに、県を表街道に押し出します。向上する五年後の県民生活と調和のとれた道路、と考え実行しています。ところで、働く意欲は、住みよい環境から自然生み出されてくるのですが、住宅にして、上下水道の、また、清掃施設や公害の防止などは個人の意思や所得の上昇だけでは改善できない問題です。とくに遅れがちであった生活環境の整備には、うんと力をいれていきます。また、世の中の片隅にとり残されて恵まれない人たちに援助の手をさしやる、独力で社会に復帰できるようにするのは社会全体の責任です。身体障害者、精神薄弱者の一大センターを袖ヶ浦に建設した策、あるいは、老人福祉の対策、力をいれていくもののためです。

「若い力と人の和で」 青少年のみならず、自分の力で、自分たちの郷土をよくしたい、こうという気持ちを持つことに誇りを感じてくたさい。千葉県が一等県に躍進するための若い力が、必要なたの潜在的な力が、若くは千葉県を押しあげていく、それがないと、私は、若いあなたに、この力に期待をよせています。私は、若いあなたに、この力に期待をよせています。私は、若いあなたに、この力に期待をよせています。

ある支庁を充足させました。中小企業の担当部門をもつて、積極的にこれにあたらせ



梅咲く

まかせます。いま、千葉港の拡充整備のため土地の造成を進めて、二が、これは民間企業による資金の比率分担、つまり、進民営方式による開発を行なっています。なぜ、進民営にしたかと申しますと、きびしい経済状態の中では、過去十数年間行なってきた県営方式による開発では時には資金的にも無理が生ずるからです。このままでは、ひずみは是正どころか、ますます格差が激しくなり、ちかばか千葉県になってしまいます。そこで、私は、京葉臨海工業地帯の造成につき、その分を県民生活の向上にむけ、調和

「生活環境の向上をはかる」 道路は、ここ一二年の間みちがえるほどよくなりました。しかし、知事への手紙の七割は、道路をよくせよという注文です。まだ十分とはいえませんが、道路は今急ピッチで整備されています。初の県営南房州有料道路も予定を早めて早く完成させたいと思います。千葉、鴨川間の山嶽の県営有料道路の四つの橋が新しくなり、

「養蚕産業のひずみ是正」 これには、個々の養蚕農家を団体化、共同化して、これに基調を置いて、他産業と四つに組んでも土俵を割らない。そういった経営の仕方、農業への地固めをしたいと思

「生活環境の向上をはかる」 道路は、ここ一二年の間みちがえるほどよくなりました。しかし、知事への手紙の七割は、道路をよくせよという注文です。まだ十分とはいえませんが、道路は今急ピッチで整備されています。初の県営南房州有料道路も予定を早めて早く完成させたいと思います。千葉、鴨川間の山嶽の県営有料道路の四つの橋が新しくなり、

また、この新春には、県、市町村、それに農業者の三者による農業開発公社を設立して、不足がちな農業の資本を充実して、もうかる農業への手助けをします。次に、漁業の整備を積極的に進め、沿岸漁業の構造改善と流通部門の強化に全力を尽くします。

中小企業、これも集団化、共同化が進んでいくと思います。私は、振興基金という特別の枠をもうけましたが、これは市町村自身が、「中小企業の振興対策は自分の仕事である」という自覚をもっていただくようお願いする考えです。県としても、昨年地域開発の拠点として、県庁の分庁を

たが、成田付近の利根川の二つの橋も、それは着工も、もう一つも近く仕事を始めます。こうして、四十五年までに県内の主要道路の大半を舗装し、曲った道はまっすぐに、県を表街道に押し出します。向上する五年後の県民生活と調和のとれた道路、と考え実行しています。ところで、働く意欲は、住みよい環境から自然生み出されてくるのですが、住宅にして、上下水道の、また、清掃施設や公害の防止などは個人の意思や所得の上昇だけでは改善できない問題です。とくに遅れがちであった生活環境の整備には、うんと力をいれていきます。また、世の中の片隅にとり残されて恵まれない人たちに援助の手をさしやる、独力で社会に復帰できるようにするのは社会全体の責任です。身体障害者、精神薄弱者の一大センターを袖ヶ浦に建設した策、あるいは、老人福祉の対策、力をいれていくもののためです。

「若い力と人の和で」 青少年のみならず、自分の力で、自分たちの郷土をよくしたい、こうという気持ちを持つことに誇りを感じてくたさい。千葉県が一等県に躍進するための若い力が、必要なたの潜在的な力が、若くは千葉県を押しあげていく、それがないと、私は、若いあなたに、この力に期待をよせています。私は、若いあなたに、この力に期待をよせています。私は、若いあなたに、この力に期待をよせています。

職員配置図

40年1月4日現在下記の場所で執務しています、近くカウンターに番号を立てて皆様の御案内が便利にできるよに、又案内も準備中とさせていただきます。何はともあれ、役場は皆様のもの、正常の理由による用件はどの係にも対応させていただきます。

町長室

す。ロビイは、ギャラリにを、明日の千葉県のために役を、立たせてください。また、二百六十万県民のみなさん、どうか、現実をみつめて一歩一歩前進してくだい。千葉県を良くするには、ま

ず人が中心です。人の和で十年を乗り越えようではありませんか。苦しいれば、県民を苦しめ、歌をうたわれれば、県民の歌の大会で、さあ歩きましょう。

課長 佐田 厚生 補佐 小川(一枝) 鈴木(国子) 吉(年念) 伊藤(秀明) 川島(義之) 八(厚生民生) 厚生(民生) 加(衛生) 江波(保健)

産業課 (猪次) 市原 吉川 林 行方 滝田 高瀬 市原 吉川 林 行方 滝田

建設課 (押尾良夫) 江(建設、土木) 鳥佐(農業) 斎藤(建設) 孫(農委) 田(建設、土木) 野(建設、土木) 田(忠告) 伊藤(秀文) 伊藤(秀文) 伊藤(秀文)

総務課 (山井) 山井(財務) 斎藤(順務) 実(文書) 川(片籍住民登録証明) 木(小高文子) 斎藤(博) 斎藤(博) 斎藤(博)

助役

課長 佐田 厚生 補佐 小川(一枝) 鈴木(国子) 吉(年念) 伊藤(秀明) 川島(義之) 八(厚生民生) 厚生(民生) 加(衛生) 江波(保健)

産業課 (猪次) 市原 吉川 林 行方 滝田 高瀬 市原 吉川 林 行方 滝田

建設課 (押尾良夫) 江(建設、土木) 鳥佐(農業) 斎藤(建設) 孫(農委) 田(建設、土木) 野(建設、土木) 田(忠告) 伊藤(秀文) 伊藤(秀文) 伊藤(秀文)

総務課 (山井) 山井(財務) 斎藤(順務) 実(文書) 川(片籍住民登録証明) 木(小高文子) 斎藤(博) 斎藤(博) 斎藤(博)

教育委員会 心配(と相談所) 伊藤 俊 山崎(くに子) 実川(とよ) 伊藤(かす子) 早川(貞) 伊藤(かす子) 早川(貞) 伊藤(かす子) 早川(貞)

職員 押尾 光雄 鈴木 秀夫 鈴木 利重 宮沢(た直) 押尾(光雄) 鈴木(秀夫) 鈴木(利重) 宮沢(た直)

大木 一 寺田 紀 又(英) 幸 有線(放送員) 用務室 収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)

収入役 五木田 越川(弘子)